

公益財団法人 都市緑化機構

理事長 輿水 肇 様

拝啓 蕙風の候、貴社ますます御隆昌にてお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

～気仙沼～大川の桜並木も昨年7月に114本の桜すべてが伐採され、現在は、防潮堤建設事業が進められております。平成29年度初頭には完了の予定と伺っておりまして、防潮堤脇に緑地帯を設ける運びとなっております。この緑地帯には、現在仮移植中のツメイヨシノ4本とハ重桜3本そして被災した大川公園から自生してきた桜の苗木3本を植樹する段取りとなっております。そして、その周辺には多くの方々の手により桜苗木の植樹を行う計画であります。その際には、皆様方にもご案内はさせていただきたいと存じます。

扱て、伐採された桜の木を使って何かできないものかと以前から思索しておりましたが、その上で、会の発案でベンチを作ることになりました。多くの方々が手に触れ、またそこで休まれ、その感触を味わうことで自然の営み、自然の恵み、自然への愛着を少しでも感じ取っていただければと願ったものです。このベンチを制作し、この度完成まで漕ぎ着けました。このベンチにあっては、やはり多くの方々にふれていただく機会があってほしいため、地元の【海の市】に寄贈させていただきました。市民はもとより多くの観光客が立ち寄りるところであり

ます。観光面だけクローズアップされそうですが、気仙沼での自然環境を保全する取り組みの一環としてとらえていただきたいものであります。

気仙沼大川桜並木を保全する会では、今後は大川左岸部への桜植樹の事業を行い、その後もこれまで通り周辺環境整備を継続していくことで、環境保全の啓蒙を実践して参ります。何卒今後ともご後援賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成27年5月吉日

気仙沼大川桜並木を保全する会

会長

橋本恒光



大川桜ベンチに再生

保全する会 海の市に寄贈

気仙沼大川桜並木を保全する会(橋本恒宏会長)は、気仙沼市の「海の市」に桜のベンチを寄贈した。使用した桜の木は、東日本大震災で津波被害に遭い、伐採したうちの1本。保存しておいたものを橋本会長ら会員が製材し、組み立てた。長さ約2尺、幅60センチ、高さは50センチで、大人3人がゆつたりと腰を掛けることが

できる。簡単に移動できるように、脚にはキャスターを取り付けた。「海の市」2階ホールに設置する予定だ。贈呈式で橋本会長は「伐採した桜を何らかの形で残したいと考えていた。新しい形で皆さんのお役に立ててうれしい。多くの人に利用してもらいたい」と話した。

気仙沼市を流れる大川の下流左岸には、727本にわたり179本の桜並木があった。津波で3分の1が流失し、残った桜も、その後発生した火災で焼けたほか、多くが塩害を受けた。堤防建設のため、残った桜も撤去。ヤエザクラ3本とソメイヨシノ4本を市内の空き地に移植したほか、伐採された。

大会に出場する」「大きな声を出して、団結力を高めていきたい」などと、こころの目標を発表した。FCバリエンテ本吉主将の三浦英斗君(津谷小6年)が「私たちは、スポーツの

雅彦、高田俊邦(松戸ハレーボール)村上千春、東谷真実(鹿折少年ラグビースクール)嶋山誠吾、三浦勇一(階上ハレーボール)三浦繁晴、伊藤英毅(気仙沼柔道)千葉多喜夫、菅原徹(日本拳法)小松広子(NEO)西村博(津谷



結団

方を伝授した。愛らしいピンクや白の花びらで春を彩るサクラソウは鉢植えなどで人氣がある。川村さんは、花を美しく保ち、できるだけ長い期間楽しめるための管理や、

川村さんは一人や利用したい声を掛けてほしい。連絡先(44)3388



寄贈された桜のベンチ

休日(当)

- ◇3日 ▼お気仙沼市田中前210▽大谷仮所▽気仙沼市(44)313
- ◇4日 ▼齋ニック▽気仙(22)726
- 歯科医院▽気仙(22)718
- ◇5日 ▼鈴仙沼市長磯原の2315▽佐々